



令和5年9月22日

## IPCC シンポジウム『IPCC 第7次評価報告書へ向けて ～未来のために今私たちが行動しよう～』の開催について

文部科学省は、環境省、気象庁、経済産業省、農林水産省、林野庁及び国土交通省と共催で IPCC シンポジウム『IPCC 第7次評価報告書へ向けて～未来のために今私たちが行動しよう～』を令和5年10月23日に開催します。

＜環境省、気象庁、経済産業省、農林水産省、林野庁及び国土交通省同時発表＞

### ■ 概要

気候変動に関する政府間パネル（IPCC）は、2023年3月に第6次評価報告書サイクル（AR6）の統合報告書を公表し、AR6が終了しました。同年7月には第7次評価報告書サイクル（AR7）を率いる議長団選挙が行われ、AR7が開始されました。

本シンポジウムでは、AR7の副議長、インベントリータスクフォース（TFI）共同議長、第2作業部会（WG2）共同議長を招き、IPCC AR6報告書の知見を紹介いただくとともに、報告書の国内執筆者を交えて、AR6の振り返りとAR7に向けた取り組みや展望について議論いただきます。

- （1）日 時：令和5年10月23日（月）14時00分～16時45分
- （2）開催方式：対面方式及びオンライン方式の併用（いずれも参加費無料）
- （3）会 場：東京国際フォーラム（東京都千代田区丸の内3-5-1）B7ホール
- （4）主 催：環境省
- （5）共 催：文部科学省、気象庁、経済産業省、農林水産省、林野庁、国土交通省
- （6）後 援：地球ウォッチャーズー気象友の会ー
- （7）参加方法：対面参加、オンライン参加どちらの場合も事前申込が必要です。対面参加の申込みは、先着400名にて締切とさせていただきます。オンライン参加（人数制限無し）の申込は、シンポジウム終了時刻まで可能です。申込方法及びその他詳細な情報については下記ウェブサイトを参照ください。

<https://www.gef.or.jp/news/event/231023ipccsympo>

■ プログラム（日英同時通訳あり）

（１）ビデオメッセージ（約 10 分）

- ・ Jim Skea（IPCC AR7 議長（AR6 WG3 共同議長）

インペリアル カレッジ ロンドン 持続可能エネルギー科教授）

（２）基調講演 1 【需要側の機会を通じた気候変動の緩和：AR6 の新規性】（約 15 分）

- ・ Diana Ürge-Vorsatz（IPCC AR7 副議長（AR6 WG3 副議長）

中央ヨーロッパ大学環境科学・政策学部教授）

（３）基調講演 2 【都市と気候変動：AR6 から AR7 へ】（約 15 分）

- ・ Winston Chow（IPCC AR7 WG2 共同議長（AR6 WG2 主執筆者(LA)）

シンガポールマネジメント大学都市気候学准教授）

（４）基調講演 3 【TFI の概要と活動内容】（約 15 分）

- ・ 榎 剛史（IPCC AR7 TFI 共同議長

公益財団法人 地球環境戦略研究機関フェロー）

休憩（約 15 分）

（５）パネルディスカッション（約 80 分）

「これまでの IPCC 評価報告書の成果と今後の課題をふまえた第 7 次評価サイクルへの期待」

▽モデレーター

- ・ 沖 大幹（東京大学大学院工学系研究科教授（IPCC AR6 WG2 第 8 章査読編集者(RE)））

▽パネリスト

- ・ Diana Ürge-Vorsatz（IPCC AR7 副議長）

- ・ Winston Chow（IPCC AR7 WG2 共同議長）

- ・ 榎 剛史（IPCC AR7 TFI 共同議長）

- ・ 江守 正多（東京大学未来ビジョン研究センター教授/国立環境研究所地球システム領域上級主席研究員（IPCC AR6 WG1 第 1 章 LA））

- ・ 平林 由希子（芝浦工業大学工学部土木工学科教授（IPCC AR6 WG2 第 4 章 LA））

- ・ 秋元 圭吾（公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 システム研究グループリーダー・主席研究員（IPCC AR6 WG3 第 17 章 LA））

- ・ 山形 与志樹（慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授（IPCC AR6 WG3 第 8 章 LA/AR6 土地関係特別報告書 第 6 章 RE））

なお、プログラムには多少の変更の可能性があります。

以 上

<担当> 研究開発局環境エネルギー課  
高附、小野

電話:03-5253-4111(内線 4475)

03-6734-4181(直通)